

事務局便り

令和4年3月10日

*「春期研修会」 会場 or オンライン、どちらも人数に余裕があります。
是非、お申込みください。

テーマ：家庭科で教えたいお金の教育

会場参加 or オンライン参加を選べます！

講師：立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任教授 河口 真理子 先生

日時：令和4年3月29日(火) 10:00 ~ 16:00

会場での場所：家庭クラブ会館

(東京都渋谷区代々木3丁目) JR・小田急・京王線「新宿駅」南口 徒歩8分

オンラインでの実施：Zoom

参加費：会員 2,500円 未会員 3,500円 (会場 or オンライン共に同額)

時程：10:00 開会

10:10 講演 (90分)

11:40 質疑応答 (会場&オンライン)

<12:00~13:30> 昼休憩

13:30 ・グループワーク 課題1

(適宜休憩)

・グループワーク 課題2

15:30 グループごとの発表 (会場&オンライン)

16:00 閉会

} (予定)

● 新型コロナウイルス感染の高止まり状況を考慮し、オンライン参加人数を増やし、お申し込み期限を3月22日(火)12:00までといたします。

※以前にも記しましたが、また最近 NHK や新聞その他報道機関から、高校家庭科での「金融教育」について話を聞かせていただきたいとか、戸惑っている先生を紹介してもらって上記研修会に参加している様子を取材させてほしいなど問い合わせがかなり多くなっています。実際にある新聞に掲載された高校家庭科の授業実践は、正に“投資教育”になっていて、私としては何だかなー？と思っているところです。

確かに日本では学校教育でお金のことをきちんと学ぶ機会はなかったように思います。今回の研修会では、河口先生のご講演をお聞きし、“家庭科で教えたいお金の教育”について校種ごとのグループになって考えていきます。

金融教育についてあまり紙面を割けませんので、別紙資料を同封しましたのでお読みになっていただくと、特に高校家庭科で求められている金融教育指導のポイントが明らかになるように思います。(学研・進学情報 2020.9月号)

*「春期研修会」の申込方法

申込期間：令和4年3月22日(火) 12:00

申込方法：本協会ホームページの「**令和3年度春期研修会**」のバナーをクリック。Google フォームに必要事項【最初に参加方法(会場 or オンライン)の選択】をご記入の上、送信してください。(参加費のご入金はお記入された予定日までにお問い合わせ)

3月中旬に、お申込みいただいたPCアドレスに、講演資料を添付してお送りしますのでプリントアウトして、お目通しの上ご参加ください。

参加費入金先：**ゆうちょ銀行 東京 00170-3-151903 全国家庭科教育協会**

三井住友銀行 新宿通支店(661) 普通 0960360 全国家庭科教育協会

(ご入金はできるだけゆうちょ銀行をご利用ください)

*令和4年度会費納入について

令和4年度の会費(6,000円)を納入ください。公費でお支払いの場合は、同封の書類に必要事項をご記入になり、早めに事務担当者にお渡しください。(あとで!…とと思っているうちに紛失されてしまう先生も多いのです(-_-;))

なお、「振込取扱票」に記載されている令和3年度分会費「未」に○は“会費未納”です。

未納分も併せてお支払いください。3月10日前後にお支払いをされた方には入れ違いで「未」と記させていることがあります。ご容赦ください。

既に何回かお願いしていることですが、年会費(会誌購読料)をゆうちょダイレクトや三井住友銀行でご入金の際には、私どもが入金を確認できる方法は通帳に印字される濁点を含めたカタカナ12文字までです。そのため学校名が全て印字されない場合も多く、銀行に問い合わせをしても先方の了解を取ってから…となり、かなり時間を有することになります。機関誌等をお届けしている宛名ラベルの右横の()内の○○-△△が会員番号ですので、その番号をお名前や学校名の前に入れていただくと助かります。事務担当者様にも是非お伝えください。

転勤等異動の方は、新たな会誌送付先を4月中に文書(Faxまたはメール)にてお知らせください。また残念なことですが、退会を希望される方は、3月末日(遅くとも4月末)までに退会届(ホームページにあります)をお使いの上、Faxまたはメールにてその旨をお知らせください。

長い間お世話になりました

この度11年間お世話になりました事務局を退職することになりました。会員の皆様とは、この「事務局便り」を通して、或いは研究大会や各種研修会などで直接顔を合わせたりなど、様々な交流の場面が思い起こされます。

高等学校家庭科教諭として、入都以来学校現場では多くの先生方に支えられ、さらにもっと数多くの生徒とは、授業や部活・その他行事等を通して、教師として人間として育てられてまいりました。

縁あって、こちらの事務局にまいりましてからは、会長を始め常任理事の先生方と研究大会や研修会の企画・運営、機関誌「家庭科」の編集にも携わらせていただき、大変充実して楽しい時間でした。

黄色く変色して端がポロポロと今にも落ちそうな機関誌「家庭科」創刊号(昭和26年1月発行)から始まる60年以上経った冊子が綴じられている棚を見て、このままではますますポロポロになってしまうのでは…と思い、帰宅後夫に話をしたら、業者に頼んでスキャンしてもらったらいよいよ!そんなに費用もかからないはず…とアドバイスを受け、70周年記念事業として集めた寄付金で、“**「家庭科」アーカイブ**”が出来上がりました。

ZKKとして先生方の授業力向上を目指した「春期研修会」も立ち上げました。また、平成26年夏には、常任理事の先生と共に全面リニューアル版“**クッキングカード**”(カード式・クリアケース付き・各ページに目盛り入)を作成しました。調理題材・レシピの検討を重ね、写真撮影には二日間にわたって河野会長も同行して、食器・カトラリー・ランチョンマットを選びました。その勢いで、“**調理の基本DVD**”も作ることができました。今になって考えると、全て良い思い出となりました。河野会長を始めとする関係の先生方のご理解・ご支援の賜物だと思っています。

話は飛びますが、つい先日メールで千葉県にお住いの79歳の男性から、「これまで妻任せであった調理を自分でもしてみたいと思い、書店やネットで情報収集をしてきたが、このクッキングカードが自分の目的にかなっていると思い入手したい、購入可能か」の問い合わせをいただきました。私が発行元にその話をしておき、「購入可能です、お連れ合い様へのお心遣いやご決心・ご意思に感動してしまいました」とお返事をする、すぐに返信をいただきました。そこには、「先ほどは、ご丁寧な返信ありがとうございます。おほめ頂いたので、挫折しないよう頑張ります。先方も、連絡頂いていますと、スムーズな対応で、早速3冊注文させていただきました。二人の娘にも送りたいと思います。ありがとうございました。」というメールがまいりました。何だか心が温かくなり、皆様と共有したい出来事でした。会員の先生方には、どうぞご健康にご留意されて、一層のご活躍を祈念いたしております。ありがとうございました。

羽野 みき子